

昭和34年度 予算市議会終る

八谷塚の土地區画整理

屋内体操場、霊柩車も計画

提出案件五〇件を審議

三十四年度予算案をはじめ提出議案五〇件の多数を審議する本年初の市議会、臨時会は二月十三日開会、付議事件を一括上程の後、市長より施政方針演説を行い、十七日一般質問、十八日質疑応答、十九日委員会に付託した。かくて二十日から二十一日まで各常任委員会を開き付託案件を審査、二十五日再び本会議を開き、各委員長より審査報告の後全議案を採択した。

今月一杯をもって四年間の任期満了、改選期を間近かに控え、鬼角世評も高調の折から、傍聴者もいつもより多く議会は活気をおび、審議も慎重を極めた。

施政方針演説(要旨)

本日ここに市議会を招集致しましたところ、議員各位におかれましては公私御多用にも拘らず御出席いただき、昭和三十四年度伊万里市歳入歳出をはじめ四十五件にわたる議案の御審議を煩わします点、衷心より感謝申し上げます。憶うに米を向主軸とする国際関係は華やかな宇宙科学を頂点として両陣営必死の融和への努力にも拘らず、尚経済問題、国防問題政治問題等々に根強い対立を醸成しており、従って、わが国におきましては、この間にあって日米安全保障条約の改訂を始め対ソ漁業、中共貿易、東南アジア振興、防衛等の問題等外交の推進に微妙な変動をも感受せざるを得ない事情にあると共に、これ等の情勢は必然的に内政の問題にも反映して来る次第でありまして税制の改正、地方交付税の引上げ、社会補償的性格にある生活保護、失業対策、国民健康保険等々の直接的関連をはじめ、教育、産業の施策にも尚派生の影響を考慮せざるを得ない次第であります。併しながら他面には御承知のとおり議会を始め関係各機関



一部 5 円
発行所 伊万里市役所
編集兼 児島清彦
発行人 伊万里市大坪町甲2869
TEL 710
印刷所 山口印刷会社
TEL 286

今月の納税

保険税第六期分(納期内にお納め下さい)

の御協力により三十二、三の両年度にわたって策定しました新市町村建設促進法に基づく伊万里市建設計画が旧県当局の認証を終え、市政の指針として行政のバランスと健全財政の限度を示しているのでありまして、茲に私は昭和三十四年度予算案を提出するに当り施政の方針と予算の概要につき申し述べ、各位の深い御理解と絶大な御協力を仰ぎたいと存じます。

先づ、予算編成の基本方針について申し上げますと、市民育成の基礎である教育文化の向上と市民生活に直結する産業と土木の振興並びに社会福祉の諸面に重点を置き、勿論消費の節減に合理的削減を加え、これをより高率の削減に運営することにより財政収支の均衡を害することなく初期の目的達成を意図した次第であります。

先づ歳入においては、その根幹となる市税の収入を一億七千九百九十三万九千円と見込みました。最近における境界の不況等経済界の動向を考慮致し、この見込みが確保は容易ならぬことと推察する

市民体育祭の挙行
社会及び労働福祉施設 労働会館
建設資金の補助、住宅対策として第一、二種それぞれ一〇戸の公営住宅建設。
新農山漁村振興対策として伊万里地区を予定推進なお農地の整備、小田地区開墾の奨励、早期栽培の奨励、更に相模栽培の推進、皇太子御成婚を記念する造林計画、二三男対策として海外移住協会の創設活動、東山代代行干拓事業、中小企業の育成振興、地区商工センターの併設強化、福島橋架橋促進、渚温泉の開発。
以上予算の概要を説明申し上げましたが、地方財政窮乏の折柄、あ



【県下PTA研究大会開かる】
第6回佐賀県PTA研究大会は、2月8日伊万里小学校で開催、参加者千数百名に上り文字どおり立錫の余地もない盛況であった。

予算はこう使われた 昭和32年度決算報告

会計別	歳入				歳出			
	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算現額	支出済額	支出未済額	不用額
一般会計	522,961,087	541,133,804	499,980,246	92,611,999,597	522,961,087	479,651,484	91,755,305	43,254,298
特別会計	17,064,700	20,317,520	16,609,001	81,703,708,519	17,064,700	16,259,239	95,300	805,461
特別道	55,250,851	60,575,706	51,552,213	85,109,023,493	55,250,851	51,550,570	93,300	3,700,281
国民健康	29,080,457	22,889,201	21,984,183	96,000,905,018	29,080,457	27,351,782	94,100	1,728,675
特別病院	4,019,920	2,744,210	2,740,210	99,900,4,000	4,019,920	2,716,976	67,600	1,302,944
授産会場	280,200	404,917	404,917	100,000,0	280,200	189,434	67,600	90,766
特別会	16,185,000	16,303,007	16,303,007	100,000,0	16,185,000	15,451,310	95,500	733,690
物品調	644,842,215	664,368,365	609,573,777	91,811,999,597	644,842,215	593,170,795	89,255,305	51,616,115

【主たる事業費支出の方針】
「消防費」特に防火水利施設の拡充に重点
「土木費」道路橋梁の維持修繕、災害復旧の早期完成と共にブルトラーの購入によるこれが効率的活用、都市計画として八谷塚、延命橋等の舗装、なお三ヶ年計画にて八谷塚の土地區画整理事業を計画実施、二里物場築造、船屋町臨港道路舗装、有田ダム着工等
「教育費」大坪小学校特殊学級専用教室新築、国見中学校第二期工事、伊万里中学校屋内体操場新設、市制五周年記念行事として社会体育普及の意味から

天野前港湾局長来庁
前運輸省港湾局長天の良吉氏は去る二十六日退官挨拶のため来庁なご同席した第四港湾建設局長

【注】
一 一般会計に於て、二、〇二七万円余の繰越金を得るに至つたのは、本決算に於て固定資産税三〇〇万円余の減収にも拘らず、市民税(主に法人税)約七〇〇万円、飲産税八四万円、木材引取税九一、〇〇〇円、電気ガス税一三三、〇〇〇円、タバコ消費税三三、〇〇〇円等それれ増収をみた外、交付税制度の改正により六二五、〇〇〇円余の増額等予想外の歳入があつたことと、一方歳出面では人件費、物件費、一時借入金金利子等消費費の節減によるものである。
二 市立病院費に於て五三六、〇〇〇円余の赤字があるのは、病院費の負債を合併の際引継いだものである。

お知らせ
市教育委員会
昭和三十三年卒業式及び昭和三十三年入学式を左記のとおり行いますのでお知らせ致します。
●卒業式 (三月十四日) 黒川、南波多、大川、松浦、山代各中学校 (全十八日) 伊万里、波多津、国見、東西、瀧野小中校 (全十七日) 牧島、大川内、黒川、南波多、山代東各小学校 (全十八日) 伊万里、波多津、波多川、東山代、山代西各小学校 (全十九日) 大坪、黒川、波多津、大川、松浦、二里各小学校
●入学式 (四月八日) 四月七日、中学校(滝野中は四月八日) 四月六日 松浦、二里各小学校

昭和34年度 伊万里市会計別当初予算と前年度現計予算比較表

会計別	本年度予算額	前年度現計額	比較増△減
一般会計	484,089,300	526,915,185	△42,825,885
水道費	20,672,000	19,118,662	1,553,338
国民健康保険費	63,637,300	50,501,300	13,136,000
国民健康保険直施設費	34,383,200	32,288,400	2,094,800
授産場費	2,603,500	2,785,900	△182,400
と畜場費	3,048,000	670,000	2,378,000
公益質屋費	4,873,200	4,600,200	273,000
物品調達費	13,601,000	15,188,000	△1,587,000
合計	626,907,500	652,017,647	△25,110,147

予算はこう組まれている 昭和34年度予算書

昭和34年度当初予算財源内訳

科目	予算額	国庫支出金	県支出金	その他	市債	一般財源
① 議会費	10,998,900					10,998,900
② 市役所費	76,736,800					76,736,800
③ 消防費	9,663,400					9,663,400
④ 土木費	94,753,700	42,072,500		1,800,100	16,000,000	34,881,100
⑤ 教育費	83,687,600	14,016,500		228,000	16,000,000	53,443,100
⑥ 社会及び労働施設費	101,509,900	61,328,800	1,467,800	12,965,000	2,300,000	23,448,300
⑦ 保健衛生費	9,697,920		2,061,000	155,000		7,481,900
⑧ 産業経済費	39,597,100	950,000	6,991,300	12,740,400		18,915,400
⑨ 産産統調査費	4,843,200			3,704,000		1,139,200
⑩ 統調査費	700,000	511,300	13,700			175,000
⑪ 選挙費	3,205,500	730,000	730,000			1,745,500
⑫ 支備費	30,876,000			739,100		30,136,900
⑬ 諸予備費	15,517,400	112,100	713,800			14,691,500
⑭ 支備費	2,301,900					2,301,900
合計	484,089,300	119,721,200	11,977,600	32,331,600	34,300,000	285,758,900

昭和34年度当初予算と前年度現計予算比較表

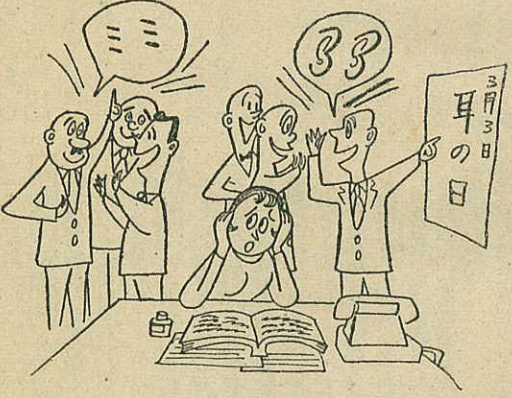
入			出				
科目	本年度予算額	前年度現計額	比較増△減	科目	本年度予算額	前年度現計額	比較増△減
① 市税	179,939,000	179,565,800	373,200	① 議会費	10,998,900	11,098,700	△99,800
② 地方交付税	96,000,000	97,480,000	△1,480,000	② 市役所費	76,736,800	75,482,200	1,254,600
③ 公営企業及び財産取入	4,726,100	5,045,200	△319,100	③ 消防費	9,663,400	12,666,500	△3,003,100
④ 分担金及負担金	14,604,900	17,376,000	△2,771,100	④ 土木費	94,753,700	95,985,200	△1,231,500
⑤ 使用料及手数料	7,299,100	6,708,000	591,100	⑤ 教育費	83,687,600	91,692,250	△8,004,650
⑥ 国庫支出金	119,721,200	130,776,600	△11,055,400	⑥ 社会及び労働施設費	101,509,900	99,048,600	2,461,300
⑦ 国庫支出金	11,977,600	9,704,200	2,273,400	⑦ 保健衛生費	9,697,900	11,368,300	△1,670,400
⑧ 県寄附金	2,754,700	11,790,634	△9,035,934	⑧ 産業経済費	39,597,100	61,560,300	△21,963,200
⑨ 附越収	100	20,273,457	△20,273,357	⑨ 産産統調査費	4,843,200	1,656,700	3,186,500
⑩ 雑収	12,766,600	12,695,294	71,306	⑩ 統調査費	700,000	171,300	528,700
⑪ 市債	34,300,000	35,500,000	△1,200,000	⑪ 選挙費	3,205,500	3,236,900	△31,400
歳入合計	484,089,300	526,915,185	△42,825,885	⑫ 支備費	30,876,000	27,041,200	3,834,800
				⑬ 諸予備費	15,517,400	34,243,675	△18,726,275
				⑭ 支備費	2,301,900	1,663,360	638,540
				歳出合計	484,089,300	526,915,185	△42,825,885

3月3日は耳の日

三月三日は「耳の日」です。「三」を「ミ」と読んで覚え易いように選んだものです。これは二年前前に日本耳鼻咽喉科学会の決議で、大衆に耳は大切なものであること、また病気の予防、治療などについて充分知ってもらうために作られたもので、この日には日本耳鼻咽喉学会が厚生省や通信社放送局などの後援を得て、全国的に講演会とか街頭検診、無料相談などいろいろの行事が行われることになっています。

一般に耳の有難さは忘れられがちですが、文化生活を営むためには耳の働きは非常に大切なものです。また耳は病気になることも多いので、ひどくない場合は多いので、手おくれになりがちなので、すから、早めに手当をうけるように心がけたいものです。

☆ 耳の日だけはお静かに (「耳の日」運動)
「三月三日と耳の日との関係は……」



料金は一体につき三百円、ただし距離や待時間によって増額料とられることになっている。

◎ 水道用メーターが全戸に取り付けられる

これまで水道用メーターが一部にのみ取り付けられ、従って料金にも不合理の点があり需用者は勿論市側としても悩みの種であったが、こんどメーターを一括導入し、ながの懸案であった水道使用料の適正をはかることになった。

◎ 国債に限り額面の二割が交付される

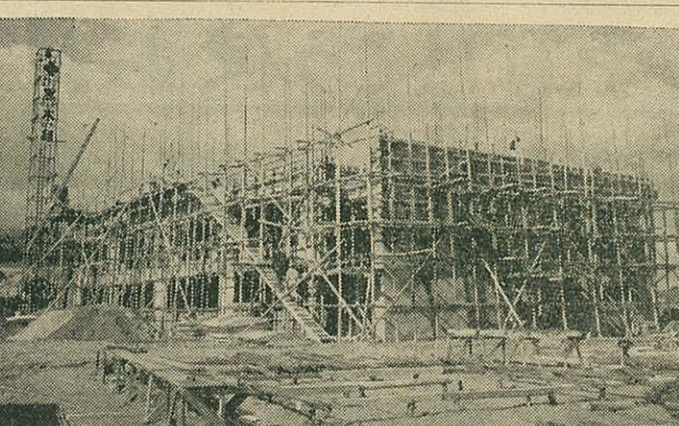
これまで公益質屋(東山代町里)の貸付額は一口千までとなっていたが、今度二千円まで引上げられた。なお質物が戦後遺族国庫債券及び引揚者国庫債券の場合に限って、額面の二割までは借用できることになった。

またこの場合は、利息も月二分の割安となっている。

◎ 公有水面使用料、産物採取料、及び道路占用料の変更

いずれも単位がメートル法に切り替えられ、なお料金が改正された。

例えば公有水面使用の広告塔は一平方メートル当り一級地でも十五円、産物採取料では砂利が一立方メートル当り五〇円となっている。また広告を添加した道路の上をまた



審議された議案の数々

今期議会において審議可決された案件から主なものを拾ってみると次のとおりである。

◎ 警備車が設置される

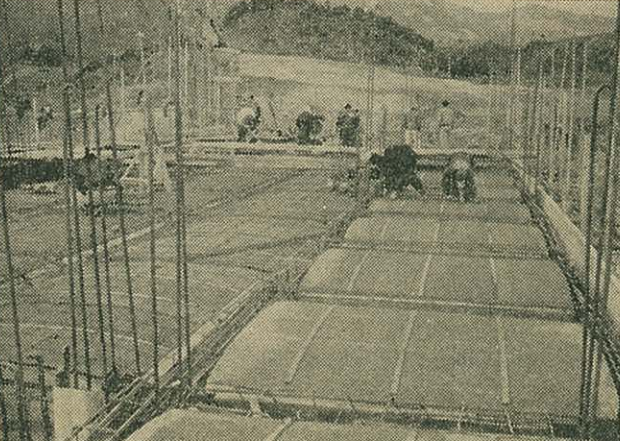
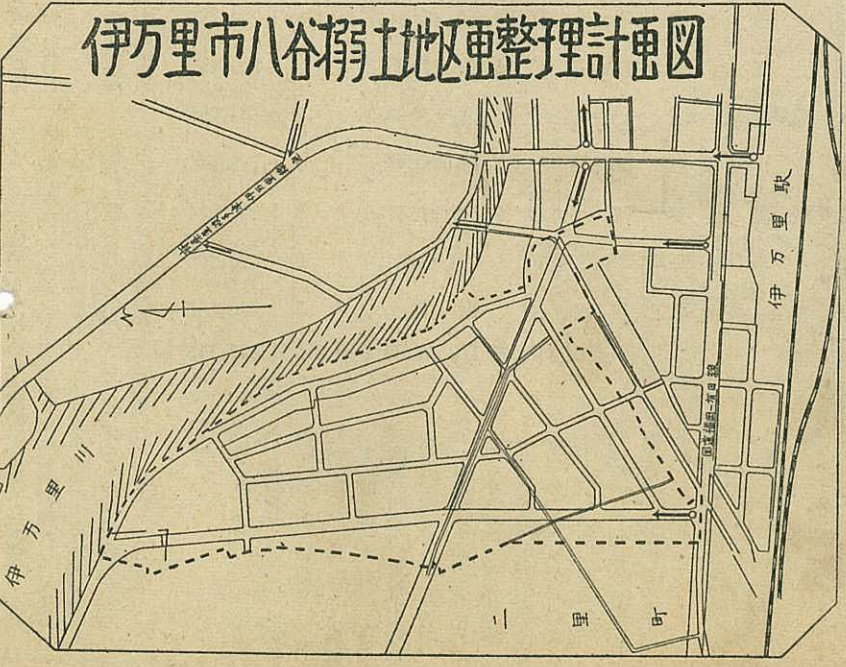
わが国のように戦後領土の半分を失い、しかも年々百万人近い人口が増えている国では「いたるところ青田あり」とのんきにかまえてもいられない。また衛生的に考えても最早理髪時代のあつてもあるまいというところから、こんど市で警備車を導入し、死出の門出を飾ることにした。

◎ 公有水面使用料、産物採取料、及び道路占用料の変更

いたが、今度二千円まで引上げられた。なお質物が戦後遺族国庫債券及び引揚者国庫債券の場合に限って、額面の二割までは借用できることになった。

またこの場合は、利息も月二分の割安となっている。

◎ 公有水面使用料、産物採取料、及び道路占用料の変更



十一月、翌年、同月。

◎ 学校や公営住宅の建設資金に起る

山代東小学校の校舎改築、国見中学の第二期工事整備、山代西及び大川小学校の整備更に公営住宅建設のため、大蔵省又は郵政省から融資を受けるため起債の承認がなされている。

◎ 河来の中心街

八谷堀の土地区画整理実施現在二里町八谷堀には物産場を築造中であるが、これで伊万里港の商港施設の一部も整備されるので、臨港道路の建設と伊万里町の発展予定地として健全な市街地を造成するために八谷堀地区に土地区画整理事業を実施するもので、昭和二十四年度から同三十九年度まで六ヶ年計画として樹立され、総事業費一億三千九百九十五万円(公共事業費を含む)が予定されている。

これが運営は建設大臣の認可次第土地区画整理審議会をつくり行われることになっている。

写真は建設を急ぐ国見中学左図……内が整理区域

二等陸海空士自衛官募集中
締切四月十五日
0140

市議会議員選挙

議員の任務は

伊万里市選挙管理委員会

私どもの日常生活に最も関係の深く且つ近いものの一つに地方自治がある。その地方自治の中で市民の意思を最も多く反映して与えらるべきものは議会である。

我が国の基本原則である民主主義政治下において、議会は民意の源泉とならなければならないことと申すまでもないことである。市民は議会のあり方を充分理解すると共に、重大な関心をもつてこれを監視しなければならない。

議会は構成するものは議員である。国会とは異なり地方議会は一院制を採用している。地方公共団体に二つの議院を有することはない。また、イギリスの市会のように長老議員と普通議員のようにならざるを得ないこともなく、すべて平等である。

議員は、議会という会議機関の構成員であるから、議会の権限が即ち議会の権限となるわけではなく、その地位においても別である。しかし、議員によつて結果された多数意思は、議会の意思となるのであるから、議員を離れて議会はあり得ない。

議員は住民から選挙によつて選出され、その地位を得、その職務は地方公共団体の主要事項についての意思決定に参画するのである。これを政治的にいへば議員は市民の代表者であるといえる。等しく住民から選出されるものであつても公共団体の長は、独任制で多くの権限が集中され、執行機関の責任者となるのであるから、民意を代表する立場の議員者のようなものが別に必要となつてくる。議員は議会活動を通じての職務が表の仕事ならば、個々の住民から希望

政治と選挙と金

今日の日本の選挙は、大変に金のかかるものといわれる。法律ではちやんと選挙費用がきまつてゐるのに、それだけではほとんど当選の見込みはなく、法定選挙費用の何倍もの金をバラまかねば、当選できないといふことが事実であれば、誠に困つたものである。

選挙がすむと沢山の選挙法違反容疑者がでるのは、この事実を裏書きするものでもある。選挙費用の大半は、選挙運動の準備に費やされ、選挙運動の準備に費やされる。選挙運動の準備に費やされる。選挙運動の準備に費やされる。

投票は爆弾よりも怖い

特定の人の指揮を受けないため、かえつて専横となつたり執行機関その他に対する協力を欠くような態度になり易い。選挙は爆弾よりも怖い。投票は爆弾よりも怖い。投票は爆弾よりも怖い。

主権は市民にある

わが国が新憲法のもとに、民主国家として発足して十二年目を迎えたわけだが、ようやくにして民主主義理想の緒についたといふやうである。主権は市民にある。主権は市民にある。主権は市民にある。

ラジオは適度の音で聞きましよう (町を静かにする運動)

公の義理を欠くな

選挙に与つて大切なことは自由と公正である。公の義理を欠くな。公の義理を欠くな。公の義理を欠くな。

選挙に与つて大切なことは自由と公正である。公の義理を欠くな。公の義理を欠くな。公の義理を欠くな。

選ぶべからず十二章

昭和三十二年の総選挙前に「全国地域団体連盟」は次のような十二ヶ条を発表し、公明選挙運動をおこした。

農休日の決め方

こんなのは如何?

- ① 農休日を定める人
- ② 農休日を定める人
- ③ 農休日を定める人
- ④ 農休日を定める人
- ⑤ 農休日を定める人
- ⑥ 農休日を定める人
- ⑦ 農休日を定める人
- ⑧ 農休日を定める人
- ⑨ 農休日を定める人
- ⑩ 農休日を定める人
- ⑪ 農休日を定める人
- ⑫ 農休日を定める人

市内で四百万円を焼失

春は火災の季節

一月、二月は寒さも厳しく採用用その他で火の利用が多く、火事の発生件数も多い月である。また春は気象関係から日本沿岸は空気がかわくせい毎年大火を起している。

即ち五月頃までは強い季節風が吹き、ちよつと消火が遅れるとすぐ大火になるおそれがある。

悪い条件が重なるときは屋内は勿論、とくに屋外の火の取扱ひやたき火には一層注意が大切である。三十三年中の全国の火災による損害は推定二五八億円といわれるが、これでは家を建てれば一戸五〇万円としても五万戸、また「東京タワー」では十本も作ることができると推定される。また市内における三十三年度の火災による損害は、建物が一、三四五平方メートル、林野が一、二四七平方メートル、金庫に見れば四一四万九千三百円となつてゐる。

三十三年度に比較すると金額では半減しているが、お互いの一寸した油断がまたまた「誰も得をしないうで、みんなが損をする」ようなムダな結果を招いてゐることに注意し、火災の季節を迎えお互いに注意しよう。

消したつもりが火事の原因

この決定をうまくしないと、すべてがスムーズにゆかないようです。愛媛県今治市の或る部落では、徹底的に意見をかわしあつた末、ことしの農休日を決めるのに成功しました。

一月は十五日の成人の日
二月は旧正月の十五日を利用して二十二日
三月は二十一日の春分の日
四月は花見時を選び第一日曜の十一日
五月は春の祭の第二日曜にあたる十一日
六月は田植明けの三十日
七月は青果市場の休日前を利用して二十一日
八月は海水浴を考へて八日
九月は逆月に月末の三日曜日(二、十一日)
十月は農繁期前に休みをとるため十八日、十一月は十日
十一月は農作業のすつかり済んだ十三日。



犬は知つていた!
「棄権はいけませんよ、ワンワン」

方を市民生活の上になんか影響を興えるかをいつも気をつけて見に行かねばならない。

その絡松を吟味し、それがよいか悪いかを判断すると同時に、それと違つた方針を實施した場合どんな結果になるかを、予想したり、研究したりする努力を怠つてはならない。市民は常に議会の動きを監視して批判し、正しい政治のあり方についての世論を導く責任を負ふべきである。

十二種目にわたる多彩な競技

期待される圧巻マスゲーム

近づく 第一回市民体育祭

かねて計画推進中の第一回市民体育祭は、いよいよ桜花さそう四月五日市内の三高校をはじめ、伊万里、大坪各小学校で華々しく開催されることになった。大会の参加選手二五〇〇名が予定され、午前八時伊万里駅前集合、堂々たる市中行進を行い会場たる伊万里中学校校庭に集まり、九時から盛大な入場式が挙行されることになっている。競技種目は陸上を筆頭にその数十二の多彩に上り、なかにも婦人会、青年団によるマスゲームは当日の圧巻とされ、又最も新しい競技、空手術の公開など観客の季節も手強い、既に街の話題をさらっており、市ではその経費として三十万円が予算化されている。

- 陸上競技**
- 一、開始時間 午前十時
 - 二、場 所 伊万里中学校
 - 三、競技種目
 - 一、五〇メートル
 - 二、一〇〇メートル
 - 三、二〇〇メートル
 - 四、三〇〇メートル
 - 五、四〇〇メートル
 - 六、五〇〇メートル
 - 七、六〇〇メートル
 - 八、七〇〇メートル
 - 九、八〇〇メートル
 - 十、九〇〇メートル
 - 十一、一〇〇〇メートル
 - 十二、二〇〇〇メートル
 - 十三、三〇〇〇メートル
 - 十四、四〇〇〇メートル
 - 十五、五〇〇〇メートル
 - 十六、一〇〇〇〇メートル
 - 十七、二〇〇〇〇メートル
 - 十八、三〇〇〇〇メートル
 - 十九、四〇〇〇〇メートル
 - 二十、五〇〇〇〇メートル

- 卓球競技**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 伊万里小学校講堂
 - 三、方 法 男女別トーナメント法、個人戦は各町男女別三位まで
- ソフトボール**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 大坪小学校
 - 三、方 法 トーナメント法による五回戦(準決勝と決勝戦は七回戦)、男女混合による各町一チーム

- 庭球競技**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 市民グラウンド
 - 三、方 法 団体、個人ともトーナメント法、選手五名、個人戦は各町三名
- 柔道競技**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 大坪小学校講堂
 - 三、方 法 一般、高校、中学に分け、一般は地区対抗とし六つに区分しトーナメント法
- すもう競技**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 市民グラウンド
 - 三、方 法 団体、個人ともトーナメント法、選手五名、個人戦は各町三名
- バレーボール競技**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 伊万里小学校
 - 三、方 法 一般男子、全女子の三人に分け、トーナメント法、三位まで、選手十二名
- バスケットボール**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 伊万里中学校
 - 三、方 法 一般と中学生に分けオープン競技とする
- 弓道**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 伊万里高等学校
 - 三、方 法 個人の近的競技
- 空手**
- 一、開始時間 午前十一時
 - 二、場 所 大坪小学校
 - 三、方 法 オープン競技とする

沃土は招く

ブラジル移民

農林高校生二君勇躍出発

減った領土に増す人口……今次大戦で領土の四割五分を失い、しかも年々百万近い人口が増加しているわが国では、人口問題が最大の悩みのたよりである。

従つて戦後一時沙汰止みになっていた海外移住の問題が諸外国の理解もあつて、昨今やつと盛んになつてきたことは、何より喜ばしい現象である。わが伊万里市からも年々相次いで南米移民が送り出されているが、今年はまだ今年高卒卒業という正に前途有望の青年(瀬戸町)大塚光雄、東山代町(田中誠司、脇田町)久保田

市長さんも是非一度

前田氏(南波多町出身)から便り

謹啓、祖国の冬も本年は殊の外の厳寒に明け、今年はまだ今春高卒卒業という正に前途有望の青年(瀬戸町)大塚光雄、東山代町(田中誠司、脇田町)久保田



【写真は伊万里沢頭における盛んな見送り風景】

家族計画普及運動

3月20日—31日

戦後わが国の出生率は、昭和二十三年の三四・七%を最高とし、同三十三年には一七・七%に減少した。併しそれは妊娠が減少したからではなく、人工妊娠中絶手術による極めて不自然な方法で減少している事が判り、人工妊娠中絶は母体の健康を損うばかりでなく、稀には死に至ることもあり、又母胎のなかに芽生えた生命をやむに難むるといふ精神的苦痛もあつて、その害は計り知れないものがあります。

家族計画とは、この人工妊娠中絶によることなく、母体の健康と一家の経済及び将来等を考慮して、計画的な出産を心がけ、出産した子供は健康やかに育て、豊かな明日を築いていくことです。

◇ 香典返しのお知らせ ◇

月日	御奇贈額	住所	氏名	死亡者名
二月 四日	壹千円	大阪市南区北炭屋町	松尾ミユキ	サダ殿
〃 十三日	壹千九百八拾円	福岡市住ノ江町	柴田好孝	戸田タツ殿
〃 十八日	五千円	東山代町大久保	古賀英助	才蔵殿
〃 二十四日	五千円	瀬戸町早里	大塚茂	敏彦殿
〃 二十六日	五千円	大坪町六仙寺	西田達雄	加藤松吉殿

三月は植樹の月
みんなで木を
植えましょう

社会教育資金に
拾万円を寄附

伊万里町内唯一の乾物類の老舗石見屋本店、吉富喜久二殿逝去のため、店主賢助氏より社会教育資金として金拾万円を市に寄附されました。

御厚札をかねて御披露申し上げます

初めてのノリ品評会

伊万里湾漁協に感謝状

さる十七日伊万里農協に於て初めてノリ品評会が催されたが、初めての試みとしては優秀な成績を収め、殊にケルプノリとして活躍目覚めた伊万里漁協ノリ研究班には、市長、県水産試験場長から感謝状が贈られた。

なお当日の入賞者次の通り
(特等) 黒川義一、松尾正義、水田重夫
(二等) 中村藤市、黒川義一、多久島芳三
(三等) 力武、島山重次、前山友一、松尾虎次、多久島高夫、力武鉄也
(三等) 多久島初男、他八名
(系状体培養努力賞) 黒川太郎、力武保、中倉成男

34年度 固定資産 (土地家屋償却資産) 価格決定

課税台帳縦覧

縦覧期間 3月18日 3月20日 3月22日
申請日 3月18日 3月30日

場所 市役所税務課 各出張所

さて今般農協第三次呼寄せ、特に郷土出身の移住者送り出しに当りましては、市長殿はじめ関係各位の絶大な御協力を賜う致しましたことを移住者に代り厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして二月五日一行三家庭(十名の元気な姿をサントス埠頭に迎えることが出来、七日には無事それぞれが耕地に配耕されましたので、何卒御安心下さい。郷土の移住熱も漸く盛んになり先駆の私達も力強きものを感じております。戦後十

就きましては市長殿には種々公務御多用とは存じますが、是非一度御来伯なされまして、ブラジル農業の実態を詳らかに御視察に相成り今後郷土の移住政策に寄与せられ、猶一層これが啓蒙指導に御骨折かれれば幸いです。併し御礼を申し上げます。では御渡伯下されることを期待して結びと致します。

一九五九年二月十六日
敬具
前田常左工門
サンパウロ州モジリアナ線
イツペラーバ市